

身近にあるアイヌ語の地名を切り口にして、私たちの暮らしとアイヌ文化との関わりに気づき、共に生きるアイヌの人々への理解を深める授業

中学校 第1学年 歴史的分野

単元名 第3部 武家政権の成長と東アジア

第2章 武家政権の内と外 第4節 琉球とアイヌの人々がつなぐ交易
「アイヌの人々の生活と文化」

札幌市立屯田北中学校 教諭 市来 正光

【1】単元のねらい

本単元では、我が国の中世の特色を東アジア世界との関わりに着目して学習する。その中では、元、明、朝鮮との関係と並んで琉球やアイヌとの交易についても大きく扱われている。また、学習指導要領においては歴史的分野の目標として「(3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う」とある。そこで本時では、アイヌの人々の生活と文化について学ぶ。これにより、今後のアイヌの人々に関わる学習に対する意欲を高めるとともに、同じ北海道に暮らすアイヌの人々に対する理解を深め、同時に他民族の文化・生活などに関心をもち共生していく心を育てたい。

【2】単元構成（5時間扱い）

1) 海をこえてせまる元軍

モンゴル帝国が拡大していくというアジアの大きな動きの中で、元寇が起きたことに気付かせる。そして元寇が幕府に与えた影響について考えさせる。

2) 後醍醐天皇の挑戦と新たな幕府

室町幕府を支えた基盤を組織面・財政面からとらえさせる。そして、基盤の弱さが後の戦国時代の動乱につながったことに気付かせる。

3) 東アジアの新体制と倭寇

朝貢の形をとってまでも勘合貿易をした理由は、幕府に莫大な利益がもたらされたためであること、輸入された中国貨幣が日本の経済に大きな影響を与えたことをとらえさせる。

4) 琉球とアイヌの人がつなぐ交易

琉球王国を通じた交易は、東南アジア一帯のネットワークの一部を形成したことをとらえさせる。また、アイヌの人々との交易も盛んに行われていたことに気付かせる。


5) アイヌの人々の生活と文化（本時）

前時で学んだアイヌの人々について、その生活や文化と自分たちとの関わりを考えさせる。

【3】本時の目標

北海道の地名の学習を通して、私たちの暮らしにはアイヌの人々の文化との関わりがあることに気付く。また、アイヌの人々の文化や現在抱えている思いの一端に触れることで、異なる文化をもつ人々との関係について考え、適切に表現することができる。【思考・判断・表現】

【4】本時の展開（5／5）

学習過程	主な学習活動	教師の関わり・留意点
導入5分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人々の文化について知っていることの交流を促す。
展開35分	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の地名のうち、アイヌ語から生まれたところを予想する。 ①屯田 ②琴似 ③篠路 ④石狩 ⑤札幌 ⑥あいの里 ⑦麻生 (②～⑤がアイヌ語からの地名) → 北海道はもともとアイヌの人々の生活の場であったことを知る。 ・地図を見て、自然とアイヌの人々の生活の場とについて考える。 ・アイヌの人々が、和人とは異なる生活を営み、独自の文化を形成していたことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の地名クイズを提示する。 ・地図を提示する。 ・アイヌ語の地名と自然との関係について触れる。 <div data-bbox="900 517 954 846" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">アイヌ語で表した地形の図</div>  <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人々の生活や文化が自然と深く結びついていることを実感するように配慮する。
	<p>今を生きる私たちにとって、アイヌの人々の生活や文化から学ぶべきことや参考になることはないだろうか。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入し、意見を交流する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自然とともに生きること ・人を大切にすること ・道具や物を大切にすること ・感謝の気持ちを忘れないこと </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを配布する。 ・アイヌの人々のどのような行為を見てそう感じたのか理由を問いながら進め、生徒同士のイメージが共有されるように促す。
<p>自然と共に生きてきたアイヌの人々に今私たちから伝える言葉があるとしたら、どんな言葉になるだろう。メッセージを書いてみよう。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入し、発表する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人々のように、自然や人を大切にしていきたい ・食べ物や道具を大切にしたい ・アイヌの人々の知恵はすごい ・アイヌ文化を大切にしたい </div>		
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーの多原さん(札幌アイヌ協会)から、大切にしたいアイヌの言葉や考え方の話を聞く。 ・授業の感想を書き、交流する。 	

【5】実践を行う上でのポイント

アイヌの人々の生活や文化について考える際には、アイヌ文化についての知識が一定程度必要となる。事前に、財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構作製のアイヌ文化普及啓発DVD「イランカラプテ」の視聴が有効である。